

Miro Ito

Signs of the Intangible

Body-mind-scapes of Japan's

1400 Years of Performing Arts

写真集

隠し身のしるし

日本の一四〇〇年の心体景観

フォトアーティスト MIRO ITO (伊藤みろ) の作品写真集。

一四〇〇年以上前に伝来した伎楽面と舞楽面、中世に大成した能、そして前衛舞踏からモダンダンスに至る

日本の祈りと奉納、懺悔と救済が交差する「心体景観」を紹介。

新作・未発表作品を含む85点の写真作品と書き下ろしエッセイを収録。

『隠し身のしるし Signs of the Intangible』

by MIRO ITO (伊藤みろ)

日本の1400年 祈りと奉納の心体景観

撮影者であるフォトアーティストの MIRO ITO (伊藤みろ) は、長年の間、身体による変身や変容を求めて、「隠し身のしるし」を探り、国宝や重要文化財の仏像や尊像を含む、祈りと奉納の景観、光明の身体表現を撮り続けてきた。

同時に、日本の芸能の歴史やシルクロード由来の舞踏の系譜とも向き合ってきた。

例えば、1400年前に伝来し、日本にだけ遺されたユーラシア最古の仮面芸能・伎楽の面、アジアのさまざまな王朝芸能を集大成し、他の国では途絶えてしまった舞楽や舞楽面をはじめ、中世に演劇として大成した能楽、古武道、そして現代の前衛舞踏、モダンダンスに至るまで、魂の“不滅の光”を、身体文化において見出し、見えない霊性を写真表現や映像作品に託してきた。

ドイツ、アメリカ、日本、という三つの国を経てきた、著者の“身体宇宙への旅”の一端を伝える本書は、世界巡回写真展「隠し身のしるし」の図録を兼ね、自身の写真遍歴を綴った書き下ろしエッセイ・芸術論を添える。

2006年「ヴェネチア・ビエンナーレ(ダンス部門)」の公式イメージとなった、舞踏家・室伏鴻との共作「Quick Silver(水銀)」をはじめ、新作や未発表作品を加えた合計85点(およびエッセイ文中21点)を網羅する、珠玉の写真集である。

本書は、シルクロードの東西交流史の光芒とつながる、1400年にわたる日本の身体表現の深層へと誘う。その先には、精神という地平から、一つの「心体景観」が見えてくる。

その心身が一体となった景観は、仏教や神道、祖霊信仰の混ざり合った、祈りと奉納、懺悔とが行き交う、日本人の死生観や救済への願い、美と聖なるものへの根底への考え方と深く関わっているのだ。

撮影・文	Miro Ito (伊藤みろ)
企画制作	メディアアートルীগ
発行	本物の日本遺産イニシアティブ
英語編集	Andreas Boettcher
寄稿文	森山明子(武蔵野美術大学デザイン情報学科教授[現 神戸芸術工科大学副学長])
装丁	齋藤知恵子(sacco)
写真集仕様	A4変形・並製本・オールカラー・写真85点(+エッセイ文中21点)・全152頁 オンデマンド印刷版/定価[本体10,000円+税] ISBN978-4-9912957-0-6 C0072

撮影協力	東大寺、春日大社、奈良国立博物館、世田谷山観音寺、イノメディアプロ
東大寺宝物	伎楽面(醉胡王・醉胡従[3種類]・崑崙・迦楼羅・力士・治道・太孤父、重要文化財/8世紀)、舞楽面(陵王/13世紀、重要文化財)
春日大社宝物	舞楽面(散手・崑崙八仙・地久・新鳥蘇・納曾利/12世紀、貴徳鯉口/16世紀、重要文化財)
協力演者	金春穂高(シテ方金春流能楽師) 武田志房、武田友志、武田文志(シテ方観世流能楽師) 室伏鴻、滑川五郎、山口タマラ、玉野黄市(舞踏家) KiK_7、蹄ギガ、上田創、ゴールデン鈴木、スワン王子、KYOMU、Propaganda 石蹴鐘(SAL VANILLA、舞踏カンパニー) 春双(現代舞踊家・バレエダンサー)

写真集の売り上げは、「日本の文化を通して世界に貢献する」という趣旨の下、「本物の日本遺産イニシアティブ」WEBサイトを通じた、日本文化の広報活動をはじめ、書籍・映像作品・展覧会の制作と発表、国内外の美術館や教育・研究機関、国際メディアとの協働のために、役立てていきます。写真集をご希望の方は「本物の日本遺産イニシアティブ」WEBサイトから、お申し込みください。(※詳細は、下記URL・QRコードからリンク先へお進みください。)

お申し込み・お問い合わせ | 本物の日本遺産イニシアティブ&メディアアートルীগ
japan-authentic-heritage-initiative.org
info@japan-authentic-heritage-initiative.org



2006年「ヴェネチア・ビエンナーレ(ダンス部門)」の公式イメージとなった「Quick Silver」舞踏家 室伏鴻



東大寺 伎楽面「醉胡王」重要文化財 奈良時代

MIRO ITO / 伊藤みろ

フォトアーティスト・著述家・映像作家として、ドイツ、アメリカ、日本の三つの国で活動。NYで体験した「9.11同時多発テロ事件」を契機に、“いのちと祈りの人類遺産”をテーマに、日本の日本の有形無形の世界遺産・国宝・重要を撮影。これまでに世界12カ国で30回以上の展覧会を開催。外務省在外公館、国際交流基金、日本カメラ財団等との共催で、世界巡回写真展「光と希望のみち」「隠し身のしるし」を開催中。主な著作に『心のすみか奈良 いのちの根源なるものとの出会い』『日本の家紋と姓氏』『極意で学ぶ 写真ごころ』『萬歳楽——野村万之丞作品写真集』がある。慶應義塾大学美学美術史学専攻卒業後、ドイツ国立 Folkwang 芸術大学にて写真と応用美術を学ぶ。
公式サイト mediaartleague.org

本物の日本遺産
イニシアティブ
JAPAN AUTHENTIC
HERITAGE INITIATIVE

MEDIA ART LEAGUE